

「西脇市観光交流推進ビジョン」の概要

1 ビジョンの趣旨

「西脇観光交流推進ビジョン」は、西脇市における観光交流活動をどのように推進していくのかということを示す指針です。西脇市において観光交流分野で初めて策定する計画となります。

2 ビジョン策定の背景

定住人口が減少する中、今後地域活力を維持・向上させていくためには、交流人口を拡充していくことが不可欠となります。商工都市として発展してきた西脇市では観光交流に関する取組は発展途上であります。

平成25年度からスタートした「西脇市総合計画・後期基本計画」では、まちづくりの重点プロジェクトの1つに「訪れてみたいまちづくりプロジェクト」として、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を掲げています。さらに地方創生の取組においても観光交流の振興を重視しています。

こうしたことを踏まえ、観光交流振興の目標を関係者が共有し、計画的・効果的に事業を進めていくため、ビジョンを策定しました。

3 計画の概要

- (1) 位置付け 西脇市総合計画の観光交流分野における個別計画
- (2) 計画期間 平成28年度～平成37年度（10年間）
- (3) 構成

章	項目
1. ビジョン策定の視点	① 西脇市における観光交流推進の意義 ② ビジョン策定の経緯 ③ ビジョンの役割
2. 西脇市における観光交流の動向	① 観光交流の現状 ② 観光交流推進に向けた課題と期待
3. 観光交流の推進に向けた基本目標	① 観光交流の定義 ② 基本目標 ③ ビジョンとコンセプト ④ 成果目標 ⑤ 推進体制と効果測定
4. 実現のための基本戦略	① 基本戦略の設定に当たっての考え方 ② 基本戦略（6つの戦略）

4 ビジョンの体系

ビジョンの役割	西脇市の“観光交流”を推進していく指針
----------------	---------------------

課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 集客力のある観光交流資源が非存在 ▶ 経済性の軽視 ▶ 市民と旅行者ニーズのギャップ ▶ インフラ・情報発信力の不足 ▶ 市民の意識・理解度が低調 	期待	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 京阪神都市圏に近接 ▶ 未活用の地域資源の存在 ▶ 行政・市民の取組の高まり
-----------	---	-----------	--

基本目標	地域経済に貢献する観光交流活動を生み出す
-------------	-----------------------------

ビジョン	ありたい姿【将来：10年後】	交流人口が増え、にぎわいが創出されている西脇市 (北播磨ナンバーワン観光都市・観光周遊ルートへの組み込み)
	ありたい姿【近未来：5年後】	「立ち寄ってみたい!」と思われる西脇市 (旅行者が少し増えてきたと認識されること)

コンセプト【力を入れていくこと】	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の素材を生かした観光交流資源の充実・創出 ▶ 効果的なセールスプロモーションの展開 ▶ 観光交流振興を支える体制づくり
-------------------------	---

5つの成果目標【数値を伸ばしていくもの】				
年間観光入込客数	市内での1人当たり旅行消費額	市内で食事をする旅行者の割合	市内旅行者の満足度	市民の観光交流に関する意識
140万人	8,000円	70%	中間目標値以上	項目ごとに60%・50%

6つの基本戦略【施策・事業の展開方針】

5 基本戦略の構成

	基本戦略の柱	具体的項目	取組内容・主な事業例
6 つ の 基 本 戦 略	戦略1 ご当地グルメとご当地物産の消費拡大 【最重点戦略】	① 「西脇ローストビーフ」の周知・消費拡大	店舗紹介パンフレットの作成、食べ歩きなどの集客イベントの実施
		② 「播州ラーメン」の周知・提供店舗の拡大	物語性を強調したパンフレットの作成、市内店舗での研修による後継者・起業者育成
		③ 市内飲食店の消費拡大	「にしわきごはん」の作成、食べ歩きなどの集客イベント、個別店舗のメニュー開発
		④ 地域資源を活用した物産の開発・充実	「西脇うまいもん職人逸品ブランド」の再構築、播州織・地域食材を活用した新たな土産物の開発
	戦略2 西脇市ならではの地域資源の観光交流 資源化	① 「季節の旬」の資源化	4つの資源の観光交流資源化 (畑谷川のホタル、都麻乃郷あじさい園、西林寺・荘厳寺の紅葉、いちご狩り)
		② 「播州織」の資源化	播州織の情報発信を行う拠点施設の整備の検討、生産現場を体感できる産業観光の推進
		③ 「日本のへそ」の資源化	「日本へそ公園」の施設整備、好奇心を高める情報の発信、発見100周年記念イベントの検討
		④ その他西脇市ならではの資源の活用	歴史的建造物の保全・有効活用の調査、中心市街地の回遊性を高める取組、宿泊ゴルフ利用者助成、民間事業者と連携した企画提案(登山・野外活動)、夜型観光プログラムの開発
		⑤ 連携による資源化	資源を組み合わせたモデルコースの設定、店舗と観光交流施設の連携による誘客活動
	戦略3 旅行者に届くセールスプロモーション の展開	① 従来の情報提供ツールの充実	観光パンフレット・ポスターの作成、ホームページによる情報発信の強化、観光交流大使の起用検討
		② SNSなど新規メディアの活用	スマートフォン対応サイトの構築、双方向メディアの特性を活用した情報の受発信
		③ ターゲットエリアでのプロモーション強化	3つのターゲットエリアの設定(阪神都市圏・西播磨～岡山県エリア・北近畿方面等からの立ち寄り地)
		④ メディアへのプロモーション	新聞・雑誌等への広告記事の掲載、メディアを意識した話題づくり
		⑤ 旅行会社へのプロモーション	ターゲットエリアの旅行者へのツアー造成の働き掛け、インバウンドツアー主催者へのセールス活動
	戦略4 おもてなしの体制づくり	① 施設等の整備	道の駅の施設整備、観光情報発信の拠点施設の整備、トイレ・駐車場・公衆無線LANの整備
		② アクセス・二次交通の整備	施設へ誘導する道路標識の設置、タクシー会社と連携した観光プランの開発、レンタサイクルの導入
		③ 受入組織の整備	観光協会の運営強化・法人化、案内ガイドの発掘・育成、観光まちづくりにつながる市民向けの講座
		④ 観光推進体制の強化	多様な主体が参画した「西脇市観光交流推進協議会」の設立、観光交流マネジメント推進母体の形成
		⑤ 観光交流関連データの収集・活用	観光交流関連データの計測・活用手法の構築、観光交流資源の写真素材のデータベース化
	戦略5 広域連携の推進	① 近隣自治体との連携	北播磨広域観光協議会・2つの定住自立圏での連携による誘客活動、丹波地域との連携の呼びかけ
		② 素材・テーマに着目した連携	牛肉など素材に着目した誘客活動、近隣市町の観光交流資源との連携
	戦略6 集客交流型観光の創出	① 需要の創出	集客交流イベントの開催促進・会場の充実、同窓会の開催支援
		② 誘致体制の強化	官民共同による集客交流イベントの誘致推進体制の構築